国労盛岡

発行所　国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者　佐々木　力
編集者　及川　孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス
nrumori@poem.ocn.ne.jp

2016.10.10
第1498号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを
皆の力で」

「一緒に解消しませんか、
あなたの疑問。
加入まってます」

第10回地方本部組織拡大対策会議

職場の声を吸い上げ拡大の取り組みを

＝人間関係大切に運動を展開しよう＝

地方本部は、「第10回組織拡大対策会議」を9月3日・4日に雫石町鶯宿温泉・赤い風車で開催、各機関の代表者・役員38人が参加した。会議には、国労東日本本部から伊藤隆夫執行委員が参加し、東日本本部の組織状況と国労を取り巻く情勢報告を受けた。なお、全交運共済東北支所の橋本昭二副本部長から「労働者福祉活動の強化に向けて」と題し講義も行われた。

今年の新規採用者で国労加入の青年も参加し全体で交流を深めた。青年の国労加入を新たなスタートと位置づけ、誰もが安心して働き続けられる職場づくりを求め続けてきた国労運動を継承・発展させるため、組織拡大に取り組んでいくことを意思統一した。

東日本本部の現状を報告する伊藤執行委員

分散会で課題・実態を確認し合う

会議は、小林副委員長の開会挨拶で始まり、佐々木委員長が「台風10号で被災した方々にお見舞いを申し上げる。JR各社と各エリア本部が労使関係を作り、労働協約を結び安全・安定輸送の確立、労働条件に関する問題点を議論している。国労結成70年の運動と組織をどう未来に繋いでいくかを真剣に考える重要な時期にきている。国労加入した青年のためにも有意義な会議にしたい」と挨拶し座長に就任。伊藤隆夫東日本本部執行委員から国労組織の現状が報告され、急速な世代交代に、組織拡大に向けた運動が重要であることを再認識した。

100人を超える組合員が主務職試験に合格し、助役・技術専任職にも登用されており、技術継承には国労組合員の技術力が必要であることを確認した。また、今年度の組織拡大最優秀標語は「つなげよう技術（わざ）と魂（こころ）と運動を！」が選ばれたことが報告された。

続いて菊池組織部長が「組織強化・拡大の当面する取り組み」について提起し、4分散会に分かれ主に①新規採用者対策の中間総括②分会集会や班集会の取り組みと課題③地区協や職協ならではの拡大に向けた運動④具体的に一歩踏み出すための取り組み―など座長を中心に議論した。

各分散会報告では、「班の飲み会に2・3年目の社員も参加した。業務の悩みを相談してくれるので、丁寧にしっかりと対応していくことが大事」「新規採用者対策として執行委員会等で意思統一した行動が必要」「他地本の取り組みに学び大胆に行動を起こしていくことも必要」「地区協や職協も分会との情報共有を図り、拡大に向けた運動に取り組んでいく」など前向きな報告も多く出された。

全体交流では9人から、「職場の雰囲気が悪く不満を持っている若手社員がいるのも事実。あきらめず継続した運動が大事」「趣味やレクを通じて人間関係を深めていくそこから先の踏み込んだ取り組みも重要」「機関紙の継続発行で国労運動を見せていく」などの発言があり、沢田書記長が「会議内容を報告する場をつくり職場での意思統一が必要。重くとらえず趣味やレクでの人間関係を大切にしていく。自信をもって国労運動を展開していこう」とまとめた。

今職場では、個人課題の取り組み報告や業務研究など若手社員に多くの負担が強いられ、肝心な本来業務に支障しているとの報告もされている。青年の加入に自信を持ち、彼らの声を拾い上げながら青年の仲間を増やしていく決意を確認し合い散会した。

第21回東日本本部マラソン大会

＜駅伝・個人＞
2016.11.12（土）
皇居外周マラソンコース
【申し込みは地方本部へ】

当面の主な日程

▽10月13日（盛岡）JR東日本盛岡支社平成28年度殉職者慰霊法要
▽11月5日（盛岡）第38回盛岡支部定期大会
▽11月6日（青森）第59回青森支部定期大会
▽11月8日（盛岡）第2回地方本部執行委員会
▽11月11日（仙台）第27回東北交運労協総会
▽11月19日（盛岡）第28回盛岡地方運転協議会定期委員会
▽11月19日（盛岡）第52回盛岡地本家族会総会
▽11月20・21日（盛岡）第13回国労東北協議会労働講座及び総会
▽12月3日（盛岡）第27回平和環境岩手県センター定期総会

第4回国労東日本ゴルフトーナメント

盛岡地本チーム8位

13チーム・52人が参加

競技前に記念のスナップ

第4回国労東日本本部ゴルフトーナメントが9月12日に栃木県のサンヒルズカントリークラブで約80人が参加し開催された。トーナメントには、東京地本5、千葉地本2、秋田・盛岡・仙台・新潟・長野・水戸の各地本1チーム（チーム4人）の計13チーム52人が参加した。同時に各地方本部の随行責任者、外郭団体参加者によるエキシビションマッチも行われた。

盛岡地本チームは、6月の地本ゴルフ大会でグロス上位3人の藤田勇人（青森施設分会）、山内敏昭（八戸工務分会）、藤村克則（八戸工務分会）選手とグロストップの八重樫俊昭（盛岡電気分会）が私事により参加できなくなり、急遽、遠藤正（地方本部）選手が参加した。藤田・山内選手は新橋支部2選手と藤村・遠藤選手は神奈川地区本部2選手とラウンドした。地本チームの成績は、藤田選手がスコア93（個人25位）、山内選手が同90（16位）、藤村選手が同96（30位）、遠藤選手が同103（42位）の4人のスコア計382で団体戦8位。優勝は合計スコア349で大宮地区本部チーム。

「佐高信文化塾」岩手

悪の道に進む安倍政権
戦争法廃止を求め闘おう

「海渡雄一」弁護士が講演

安倍首相の嘘を許すなと訴える海渡弁護士

2016佐高信文化塾の第2回講演が9月17日、盛岡駅西口の複合施設「アイーナ」で開催された。講師には弁護士の海渡雄一さんを迎えて、「安倍政権の準備する改憲・人権抑圧・原発推進政策をどのようにして阻止するのか」と題して約100分間講演を受けた。

海渡さんは、国労差別事件など多くの労働事件や航空機事故に伴う損害賠償事件、原発問題・人権事件などを担当している。さらには原子力関係や人権関係について多くの著書を出版している海渡さんの講演を聴こうと約50人が参加した。（国労から家族を含め8人が参加）

講演では安倍政権の現状について、「戦争法が成立して1年が経過した。この間の選挙では経済政策を前面に打ち出し、選挙に勝利すれば悪の道に導いて日本人が忘れるのを待つことが安倍首相の狙い」と批判した。戦争が始まる仕組みについては、「全ての戦争はウソと秘密から始まり、特定秘密保護法の下では政府による悪用を防ぐことができない。盗聴法が拡大され、共謀罪の新法案が成立すれば戦争への道筋が現実化してくる」と訴えた。最後に「日本は侵略戦争の事実を認識し、歴史に対する謙虚な姿勢を次の世代に語り伝えていくことが大事」と述べ講演を終えた。

戦争で命を奪われるのは自衛官だけではなく、一般市民にも犠牲が及ぶ。特定秘密保護法や戦争法に反対し、廃止を求める活動を継続することが戦争を防ぐ防波堤となる。安倍政権のウソやまやかしを見抜き、真実を求めることが重要である。

次回の佐高信文化塾（最終講演）は12月3日（土）に開催。講師には佐高信塾長。場所と講演内容については別途指示とする。

ていこう

「広げよう、感動。伝えよう感謝」をスローガンに岩手県で46年ぶりとなる「第71回国民体育大会・希望郷いわて国体」が、10月1日、北上総合運動公園で開会式を開催し、岩手県の各市町村を会場に競技が行われている。11日までの日程で各県選手団は出身県の名誉と誇りをかけて各競技に望んでいる▼46年前は、1970年、昭和45年であり、「誠実・明朗・躍進」をスローガンに「第25回みちのく国体」として開催された。同じ年には、「日本万国博覧会・大阪万博」が開催され6421万人の来場者でにぎわい、「黒猫のタンゴ」が流行った年でもある▼国労は今年結成70年の節目をむかえている。国労の歴史は闘いの歴史であり、「国鉄分割民営化」の闘いは記憶にあるが、多くの先輩たちが体を張って闘った闘争が46年前にあった▼国鉄当局が、国鉄職員の意識改革などを目的とし、生産性向上運動（マル生運動）を開始した年である。国労は「反マル生闘争」を展開し、管理者による分断・恫喝などを受けながらも粘り強く職場・地域からの闘いを継続し、当時の国鉄総裁が国会で陳謝するという結果を受けて、マル生闘争は終結した▼地方本部はその歴史の中で10月8日に第72回大会を開催する。メインスローガンは「つくろう職場に労働運動を。ひろげよう闘いを職場に、地域に、全国に」である。国体のスローガンは変化するが国労のスローガンは変わることなく、継続されている。私たちは「職場に労働運動を」の基に、国労組織の喫緊の課題である組織拡大に奮闘することが求められている（小）

第５回地方本部ボウリング大会

団体優勝は北上地区協・駅連チーム

「13チーム」52人の参加で団体・個人競う

第５回地方本部ボウリング大会が９月24日にラウンドワンスタジアム盛岡店で13チーム、家族を含め52人が参加し開催された。

レーンをバックに参加者撮影後に競技へ

大会は、14時過ぎからスタジアム入り口前の広場で簡単に開会式と競技内容の説明を行い、会場に移動し13レーンに分かれ１チーム４人の２ゲームの合計点で争う団体戦、同合計点で争う個人戦の競技に入った。なお、女子の選手にはハンディとしてＩゲーム10点をプラスとした。

各チームとも和気あいあいの中、ストライクに歓声、ガッター、スペアミスに首を傾げたげたり他チームの成績ボードを意識しながら、華麗なホーム？練習の成果？で優勝と高スコアを目ざしボールを投じた。

16時過ぎには競技を終了、会場を開会式を行った場所に移し、表彰式を行い閉会した。なお、成績（個人は第３位迄）と各アトラクションは次の通り。

◇

【団体】
優　勝　１２３４点　盛岡地区協・スペシャル
準優勝　１１６９点　北上地区協・駅連合
第３位　１１１６点　北上地区協・施設
第４位　１０８９点　野辺地三沢大湊地区協
第５位　１０７４点　盛岡地区協・施設
第６位　１０５８点　青森地区協・施設
第７位　１０５７点　一関地区協Ｂ
第８位　１０２０点　地本・盛岡支部
第９位　９６０点　盛岡地区協・ホールインワン
第10位　９４１点　一関地区協Ａ
第11位　９１５点　宮古地域
第12位　７４２点　八戸地区協
第13位　３５９点　地方本部家族会

【男子個人】
優　勝　３２８点　石川　透（北上駅連）
準優勝　３２６点　千葉　明告（一関工務）
第３位　３２３点　大石　清（大湊地域）

【女子個人】
優　勝　２４３点　小原　理香（家族）
準優勝　２３６点　米田江利子（家族）
第３位　２１８点　小野寺京子（一関運輸）

【最多ストライク賞】
男子　９ストライク　橋本　直人（大湊地域）
女子　３ストライク　小野寺京子（一関運輸）

【Ｂ・Ｂ賞】
男子　２０１点　菊池　要悦（地方本部）
女子　１７８点　小松　裕子（家族）

国労家族会全国連合総会

28人の参加で総会と学習交流会

＝盛岡からも３人が参加＝

国労家族会全国連合会は、２０１６年９月25・26日、箱根湯元「開雲」で第52回大会を開催しました。28人の家族会員が集まり２０１６年度の活動方針を決定しました。盛岡からは３人参加しました。

大会は、石割文さん（近畿）伊藤真弓さん（九州）を議長団に選出し議事に入りました。

来賓の挨拶では、国労本部佐々木中央執行副委員長が話された配偶者控除の見直し、専業主婦もしくは、年収１０３万円以下のパート主婦がいる世帯の税負担を軽くする「配偶者控除」見直しの動きが本格化しているなどの話に大変興味を持ちました。続いて橋本青年部長の挨拶、加藤女性部長からは情勢や国労活動など話されました。

学習会では「憲法改正と自民党改憲草案等について」と題して講師に岡田尚弁護士（国労弁護団、岡田尚法律事務所）をお迎えし約１時間、「憲法ってなぁ～に」「これをどう変えるの」「知れば知るほど恐ろしい自民党改憲案」等の講演や憲法９条について詳しくお話しを聞かせて頂きました。日本は憲法９条により世界で唯一戦争をしない国です。その憲法９条を今改正する動きがある事。過去には戦争で沢山の命が犠牲になりました。せっかくもう軍事力で争わない日本になったのに憲法９条を改正してしまっては、これからの世代にも戦争が身近なものになってしまう様で正直恐ろしい感じがしました。もう少し時間を頂き、岡田弁護士の話を聞けたら良かったなと思いました。

夜は、交流会があり色々な情報等が交換され興味津々でした。

２日目は、井村総財部長の挨拶からスタートし、ここでも配偶者控除の見直しの話がされました。続いて各地方からの活動報告が有り、どこの地本家族会も人が集まらず苦労している中、色々行事等考えて活動している様でした。大会で決定した方針をもとにこれからも国労家族会活動に積極的に参加したいと思います。

常任幹事　小松　祐子

9.22代々木公園

一万人署名高校生大使が決意

同じ世代の仲間と平和を求め行動

「さようなら原発・戦争」全国集会

昨年９月19日に「戦争法」が強行成立されてから１年が経過しました。今後、治安状況が悪化しているアフリカ・南スーダンへのＰＫＯ（国連平和維持活動）に11月から派遣予定の陸上自衛隊では「駆けつけ警護」などが想定をされています。他方、高速増殖炉「もんじゅ」の実質的な廃炉の決定など核燃料サイクルをはじめとした日本の原子力政策は手詰まりの状況にあるものの、政府は依然として原発依存の方向性を改めようとしていません。こうした中で９月22日、東京都・代々木公園にて「９．22　さようなら原発・さようなら戦争大集会」が開催され、盛岡地本からは４人が参加してきました。

強い雨の中、全国各地から９５００人（主催者発表）が集会へ結集。第一部として「寿」というグループによるミニコンサートが行われ、第二部では呼びかけ人を代表した澤地久枝さん（作家）の主催者挨拶に続き、木内みどりさん（俳優）など登壇した皆さんが次々と思いを発言。とりわけ、高校生平和大使である布川仁美さんの「核兵器廃絶を訴える高校生１万人署名を取り組んでいる。同じ世代の仲間と平和な世界の実現をめざし行動を続ける」との力強い決意報告が深く印象に残っています。

悪天候により当初予定していたデモ行進は中止となりましたが、呼びかけ人の一人である鎌田慧さん（作家）による閉会挨拶にて集会を終了しました。

平和に、安全に、安心して暮らしていける社会を創りだすためにも、地域における運動を強めて行くことが重要だとの思いを改めて感じて来ました。

地方本部　菊池要悦

集会には9500人が参加

戦争法廃止求め

盛岡で緊急デモ

9/16・盛岡で130人参加

盛岡市内での緊急デモ！

９月16日、17時15分から「強行採決から一年・戦争法廃止をあきらめない！」盛岡緊急デモが取り組まれた。約１３０人（国労７人）が参加し、「私たちはあきらめない！戦争法廃止」「９条を壊すな」と盛岡歴史文化館前を出発し大通りまで市民に訴えた。主催は戦争法の廃止を求める全国２０００万人統一署名運動を推進する岩手の会。

生活・法律相談

専門の弁護士が直接相談に応じます。

生活・法律相談窓口のご案内

相　談　日：2016年　7月14日（木）/9月8日（木）/11月16日（水）
2017年　1月12日（木）/3月9日（木）/ 5月11日（木）
相談時間：すべての相談日とも13時から15時まで
相談受付電話：019−622−5021　国鉄労働組合盛岡地方本部
相談場所：盛岡市内丸6-15　EST21ビル　もりおか法律事務所
弁　護　士：佐々木　良博
※ 相談者氏名、相談内容等については、外部には一切公表致しません。〈秘密厳守〉

労働問題からサラ金問題、財産相続問題など、何にでもご相談ください。
無料相談

一般財団法人　国鉄労働会館　盛岡地方部